

会 議 録

会 議 名	第3回 三芳町学校再編等審議会		
開 催 日 時	令和5年11月7日(火) 午後5時30分開会 午後7時25分閉会		
開 催 場 所	三芳町総合体育館3階 研修室		
出席者氏名	会長	佐藤 和秀	委員 明石 沙絵子
	副会長	宇佐見 宏一	委員 南雲 友香
	委員	岡野 雅一	委員 西内 一夫
	委員	大澤 純之	委員 曾我 幸也
	委員	田畑 裕孝	委員 渋谷 勝
	委員	松元 優子	委員 吉村 豪
	委員	高橋 敦士	委員 清水 恵美
欠席者氏名	委員	細谷 拓郎	委員 松村 明子
	委員	武田 和広	
事 務 局	学校教育課		
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事(説明・協議事項)</p> <p>(1) 前回会議録について</p> <p>(2) 前回会議での調査事項等について</p> <p>(3) 協議</p> <p>4 諸連絡</p> <p>5 閉会</p>		
会議経過	別添のとおり		
会議資料	・第2回会議での調査事項等について		
会議録の確定	令和5年12月19日		

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
会長	<p>1 開会 2 会長あいさつ 3 議事（説明・協議事項） （1）前回会議録について</p> <p>事前に資料と会議録について配布してもらっているが、ご意見等はあるか。</p> <p>（発言者なし）</p>
会長	<p>では、前回の会議録は承認していただいたということで、事務局の方で公開をしてもらう。</p>
会長	<p>（2）前回会議での調査事項等について 前回会議からの調査事項について、事務局より説明を。</p> <p>資料1について事務局説明</p>
会長	<p>【人口に関する事項について】 前回の宿題というところで、統廃合・再編によって、コストカットが示されていたところがある。それについての内訳、現時点での予防保全改修、大規模改修、長寿命化改修の計画とコストについて、資料として出せるものがあれば出してほしいというような要望が委員からあり、今、事務局の方から説明資料に基づいて説明いただいたところ。今日の時点で提示させていただいたものでもあるので、ぜひ見ていただき、質問等をお聞きしたい。</p> <p>それでは、資料1の三芳町立小中学校の更新費用のイメージというところで質問等ご意見ございましたら。</p>
委員	<p>質問は2点。まず1点が、今の現状で、いずれも最初の60年目まで、この図だと大規模改修を行わないまま60年目を迎える形になっているが、実際には改修されているという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>学校施設については、日常点検や施設管理担当による不具合の発見などにより、必要な修繕工事を常に実施をして施設の維持管理に努めている。今後も安心安全な学校を維持するよう努めていく。</p>
委員	<p>現在は改築に至るまでの60年目まで大規模改修がないような図になっている。これは大規模改修を行っていない現状が反映されているということでしょうか。</p>
事務局	<p>図にもお示ししているが、耐震補強工事などは既に実施をしているところ。また、学校によってはトイレの改修工事など、必要な工事は今までも実施してきた。</p>

委員	<p>おおよその改築費用を100としたとき、次に建て替えた場合には改築費の50%程度の改修費用がかかるということになっていると思う。現状、これまでの耐震補強工事など書かれてるところは、グラフで示すとどれぐらいのものと考えればよいか。</p>
事務局	<p>手持ちの資料で耐震補強工事を行ったときの工事費用の積算などを持っていない。次回お答えをさせていただければ。</p>
委員	<p>大規模改修の25%というのは、今までの実績からのものではなく、こうあるべきというものであるのかと思う。その辺はまた整理し、次回で構わないので教えていただきたい。今までが実際どうだったかの部分と、これから新しく改修した場合、20年後に改築費の25%ずつでやるという話だと思うので、それと同じように今までどうだったかがこの図に反映された方がわかりやすいのかと思う。</p> <p>もう一点、これは従来型の長寿命化の方もそうなのだが、仮に学校の規模を減らしたり増やしたりした場合、例えば生徒数が半分になれば校舎は半分で構わないといったようなおおよそ比例するような関係なのか、生徒がざっくりと半分になったところであまり変わらない、あるいは8割9割ぐらいとなるのか、感覚でもよいので教えていただきたい。</p>
事務局	<p>二点目のご質問、児童生徒数によって施設の改修費用などが変わってくるかについては、手持ちの資料がないため、持ち帰らせていただければ。</p> <p>一つ目の質問に戻り、今回25%という形で大規模改修の費用を示させていただいた部分について、少し古いのだが平成23年3月に発表された地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書に改築単価が出ており、これを仮に100、文科省の改修費率算定表に長寿命化改修は改築単価が出ており、これが改築費用の60%という形。さらに、大規模改修については改築単価が25%という形で示される。これらを用い、棒グラフに示させていただきました。実際の三芳町がかけてきた学校の大規模改修の費用については、先ほど申し上げた通り手持ちの資料がございませんので、次回以降の宿題にさせていただければ。</p>
委員	<p>資料1の将来の更新費用のイメージで、あまり厳密なことではないのだろうが、適正化方策を実施する場合には縮減効果が41億5000万円というすごい金額。統廃合までということだが、これには統廃合の建物の解体費用等は入っているか。</p>
事務局	<p>解体撤去費については含まれていない。</p>
会長	<p>他にいかがか。</p> <p>では、この資料1についての質疑、意見については、以上にさせていただく。</p> <p>次第にある学校見学の報告についてはいかがか。</p>
事務局	<p>ご参加いただいた委員より、一言ずつご感想をいただきたいと思いますと考えて</p>

会長	<p>いる。</p> <p>全ての方にご参加いただけないところもあったので、参加していただき、学校行事等を見ていただいた感想を、一言で結構ですので、お聞かせいただけると有難い。</p>
委員	<p>藤久保小と上富小、両方参加させていただいた。藤久保小はやはり人数がすごく多くて、保護者にも圧倒された。合奏や合唱も、人数が多いと迫力があってすごいなと思った。今日行った上富小学校は、すごくアットホームな感じで、会場全体でみんなで楽しむことができてよかった。</p>
委員	<p>今日、上富小へ行かせていただき、少人数ならではのアットホームな音楽会を見させていただいた。良い点が多く見られた。やはり少人数だけあって、教員の目が行き届いているというのと、演奏など一人ひとりの声というのをしっかり聞くことができた。あとは保護者の方の人数が少なく、席の入れ替えがない分ゆっくり見られるというのがメリットだと思った。学年によっては人数の偏りがあるが、1クラス10人を切ってしまうとやっぱり1人が欠席した場合の穴が大きい。そこを今日は教員の方が埋めていたが、穴を埋める負担は教員の方にかかっている。どのぐらいの負担かが疑問に思った。また、お話の中で、少人数から人数の多い中学校でやっていけるか不安になっている保護者の方もいるという意見を聞き、上富小学校の出身の現中学生の方に、どういう点で戸惑ったかという意見を聞いてみたいと思った。</p>
委員	<p>本日、上富小学校を見学させていただいた。衝撃を受けるぐらい、非常に丁寧というか、児童たち一人ひとりが本当に楽しめるような合唱祭・合奏祭だったという印象を持った。やはり上富小は時間の余裕、物理的な場所の方も余裕はあるが、児童の準備が遅れたような場合でも、みんなで和気あいあいと待ちながら、全ての児童の準備が整ってから、さあやりましょうというような、非常に充実した時間で時が進んでいく。かなり衝撃を受けたのは、合唱が終わった拍手の後、教師の方がみんなで記念撮影するというので毎回記念撮影をされる。本当に児童が中心の合唱祭だと感じた。悪い話ではないが、他の学校だとどうしても親御さんのためのイベントになりがちだったり、その雰囲気があったりする。スケジュールに合わせてというところが一切見られず、子どもたちの動きや楽しみが反映されている非常にいい音楽祭だったと感じた。確かに、通常の規模の学校と比べてしまうと迫力がないとか、人が少ないので楽器が足りないとか言えばきりはないが、一つの形、多様性としてはこういった学校があるのは非常に素晴らしいことではないのかというふうに思った。一方で、もし保護者の方や児童の方で、どうしてもクラスや学年が少ないという話があれば、そこは対策すべきところもあるのかと思ったが、少なくとも今日見た限り、非常に羨ましいと思えるぐらいの素晴らしい音楽祭だった。</p>
委員	<p>先週上富小学校に訪問した。今回人数の多い小学校と少ない小学校の比較にあたり、小学校に通っていたときを思い出しながら訪問した。私が小学生だったときは1クラス37人前後の結構人数が多い時代だったかと思</p>

	<p>うが、それを思い出しながら上富小学校に行ったところ、1クラスあたりの人数の少なさに衝撃を受けた。教室がすごく広く感じたこと、一つの学年あたりで男女比に大きな差があったことも目立った。また、音楽会の練習も拝見させていただいたが、率直に言うと、人数が少なくて寂しいという印象を受けてしまったが、人数が少ないからこそ、一人ひとりがのびのびと演奏できているようにも思った。人数が少ないことでデメリットもあるかと思ったが、少ない時間の中で先生が一人ひとりを見て回れたり、教室の中に張り出されている年中行事を見てもいろいろな活動に取り組んでいたの、人数が少ないからこそできることだと感じた。いずれもし統廃合することになったとしても、今行っている様々な活動を一つでも多く残していけるような形にしていけたらと今回の訪問で思った。</p>
会長	<p>ご覧いただいた方々の話を伺って、委員から何かあるか。</p> <p>(発言者なし)</p>
会長	<p>では、括弧3の協議に入る。</p> <p>会長より、前回協議の振り返り</p>
会長	<p>前回の内容を踏まえ、これからの審議会も回数・時間にはどうしても限りがあるので、もう少し踏み込んだ内容、そして諮問に沿った審議を進めていかなければならない。前回は、一般的な統廃合のメリット・デメリット、それから課題について出していただいたところだが、実際に三芳町の小・中学校で学校再編、今後町の将来像を見据えた上で必要になってくるものなのかというところ、あるいは、そういう方法ではないのではないかとというところを具体的に三芳町に当てはめていただき、三芳町の現在の小・中学校をご覧いただいた中で、必要かどうかというところをベースに話し合ってください。具体的にというところで、諮問にも具体的な学校が挙げられているところ。そこについて、どういう形がいいのか。地域性もあるが、課題とその課題を解決するための手立てを話し合ってください。今日全部の小学校中学校というところにはいかないかと思うので、まずは、その一つとして小さい学校を見ていただいて、小学校をどうしていこうかというところでの課題、あるいは、現状の良い点、課題と思われる点等も出していただきながら、話し合いを進めていただければ。また、先ほど小学校から大きな中学に上がった保護者あるいは生徒の意見をというご意見もあった。そういう、今後子どもたちあるいは保護者、地域の方々の意見聴取などを受けて進めていくといいなどというのも、ご意見を頂戴できればありがたい。</p> <p>今回も全体でご意見をいただくより少人数で話していただいた方が発言しやすいかと思うので、事務局がグループ分けをした。特に前回のような話の進行役は置かず、事務局には記録を残しておいてもらいたい。まずはこの後の進め方、あるいは話し合う内容についていかがか。</p>
委員	<p>これから協議グループに分かれて、各学校の統廃合の話を具体的に議論し合うというようなことで良いか。</p>

<p>会長</p>	<p>その前に、三芳町の小・中学校として統廃合が必要なのかどうかというところ。前は、一般的なメリット・デメリットというところを出していただいた。それを三芳町の小中学校にあてはめてどうだろうかというところを考えていただければ。次の段階として、諮問にもある上富小学校であったり竹間沢小学校、中学校であったり、具体的な話にも入ってくると思うが、少し上のことまで話を進めていただければ有難い。</p>
<p>委員</p>	<p>町内でどうしていくかという議論で、当然学校名が出るような局面も出てくると思う。手元で学校名が入っているものは、おそらく公共施設マネジメント計画と諮問。適正配置をする条件等というのは、おそらく皆さんの前提条件だと思うが、議論する場合、そこにそもそもなぜその統廃合を議論しなければいけないか、そこをクリアする課題が共通事項として委員の中であるのかどうかというのが個人的に疑問。いわゆる耐用年数の話とか、教員の配置の話、少数授業の話は議論されてきているが、共通事項として、まず最低限のその観点を押さえておくものがほしい。人口が減る話はしてきたが、具体的な項目として何かまとまっていた方が議論がしやすくなるのではないかと。次のタイミングには、統廃合を判断する上での判断基準となるものと、この観点から問題があってそれが解決できなければ統廃合なのか現状維持なのか、そういった少し細かいところで、共通の話題で判断ができるものがあつた方が議論がしやすいのではないかなと思った。</p>
<p>会長</p>	<p>話し合いの柱立てというところ、事務局いかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>柱をみなさんで話し合っていた方がいいと考える。ただ、「この場合は必ず統廃合」というのが決められるかどうか、というところはどうか。町としては、統廃合を検討する基準として去年から検討委員会で検討をした結果、諮問で出させていただいた学校というのが載ってきているところ。その先を考える基準を出した方がいいのかどうか。そこも含めてご検討いただくと良いのでは。</p>
<p>会長</p>	<p>費用の面では、先ほどの改修、標準化での工事の費用は、積算のイメージとして出されている。児童生徒の人数の推移などもお手元にあるかと思う。それ以外の資料、こういう具体的な資料があるともう少し良い話し合いがしやすいとか、こういう資料を提供するというようなものがあれば、そこも出していただくと、次回の宿題として事務の方に準備お願いできるかがいかか。</p>
<p>委員</p>	<p>私の方からはアンケート、データが取れるかどうか非常に難しいところがあると思うが、各学校において統廃合に関する児童や保護者の具体的な賛否、単純に個人として統廃合後に新しい学校に行きたいとか、今の学校で学びたいとか、それがどれくらい現時点でいるのかというのは非常に大事な視点ではないかと思っている。必ずしも全数調査が必要という話ではないが、そういったものがわかるもの。学校の関係者の方々のアンケート分析をしていけば取れるという話かもしれないが、もっと具体的に、単純</p>

会長	<p>に新しい学校に行きたいという割合。みんな新しい学校に行きたいのか、この学校がいいのか。一つの判断材料になるのではないか。</p>
会長	<p>昨年度に行ったアンケートは、統廃合についてのアンケートではなく、学校規模、通学距離、クラス人数が多い方がいいとか少ない方がいいとか、適正規模を出すためのアンケート。それをもとに、町として、クラスや通学距離の適正はこのぐらいではないかということを出すための基礎資料のアンケートだった。今いただいたように、今度は具体的に学校統廃合に関するところでのアンケートが必要じゃないかというような、それをもとに、もう少し話し合いを深めていくということも必要かと思うので、こういう内容でのアンケートを作った方がいいというようなご提言をいただけるとありがたい。</p> <p>それでは、三芳町の具体的な小・中学校の統廃合を考えていく上での、必要性あるいは課題、メリットということでそれを考える上でこういう資料、あるいはアンケートが必要じゃないかということをもとに考えていただきたい。その上で、やや具体的に上富小学校をそれに合わせて考えていくとどうか。音楽会をご覧いただいた委員さんからのメリットもあった。そういったものも含めて課題として出していただければと思う。また、統合したら何が課題になってくるのか。校舎をどうするか、教職員の人数はどうするか、クラスはどうなるんだろうとかということも、それぞれ考えられるだけの課題なり、あるいは意図をまず出していただけるとありがたい。</p>
委員	<p>念のための確認だが、まずこの審議会は、諮問書というものがスタート地点としてあり、そこからスタートしている。7月20日の資料、この前段階として、三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針というものが定められている。その中で、基本方針として、小学校は多様な考え方に触れるとともに、新たな人間関係を築くためクラス替えが可能である1学年に2学級以上、中学校は小学校と同様にクラス替えが可能であるとともに全ての教科で専門の教員数を確保できる全学年で12学級以上。適正配置の基準として小学校はおおむね3キロ程度、中学校はおおむね4キロ程度等がここで掲げられている。これはこれからも尊重して話し合いを進めるという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>この方針に関しては、今皆さんがいらっしゃる審議会の俎上に乗せるための方針。ここからもっと深く考えていただきたい。町としての思いはもちろん載せているものだけれども、これが全てではないというふうには考えているところ。</p>
会長	<p>基本的にはこれをベースに考えを進めていただければ。</p> <p>(3グループに分かれ、協議。)</p>
Aグループ	<p>活発な協議で様々な意見が出た。まず、統廃合の必要性というところについては、これまでの検討委員会の資料や学校再編の審議会での関わりというところで適正規模・適正配置のベースがあり、そこを加味しながら統</p>

	<p>廃合を協議する必要があるというところでまとまった。統廃合を考えるうえで必要となる課題としては、特に小学校でスクールバスが必要になってくる。その費用負担やパターンについて、先行事例の資料を求めるとご意見があった。また、アンケートについては、賛否を問うより、判断ができる材料として、大人になった卒業生へのアンケートをとってはどうかという意見が出た。例えば、成人式の機会にヒアリングなどで聞けるのではないかという意見があった。大規模校・小規模校については、それぞれメリット・デメリットがあるという話もあった。小規模校については、和気あいあいとしたいい面もあるものの、中学校や社会に出ると大きな波に揉まれるということもあり、そういった経験は早い発達段階で出来た方がいいのではないかという意見があった。</p>
B グループ	<p>まず、統廃合が必要かどうかという点に関して、子どもの側としての目線で話し合った。途中から、例えば小学3年生で上富小が三芳小と合流するとなると、三芳小の中にもある程度グループができているので、上富小から来た子どもたちはなかなか入りづらいのではないかと、心のケアをどうしていくかという観点から、学校間での交流を早いうちから取り組んでいけば少しは緩和されるのではないかという意見があった。ただ、算数や国語の授業で交流するというのは難しいと思われるので、少年野球の話が出たのだが、スポーツで交流してはどうかという意見があった。現状、連合運動会があると思う。これは、学校同士の対抗だと思うが、そこに加えて、何かみんなのできるようなことを増やしていくのはどうかという意見があった。また、上小・三芳小が統合するにあたっては、全く新しい名前の小学校にするのか、上富小学校の子どもが三芳小学校に入学するのかで心の持ちようが変わる。吸収されるのではなく、統合というイメージを持つために、新しい学校の名前を公募するのも良いのではないかという意見があった。上富小学校を統合するという意見を前提にし、現状の上富小、小規模学校のいいところとして、地域の人々を含めて小学校を作っているところがある。そのアットホーム感を残していくことが、地域の方々にもいいのではないかと。地域の人々に統合について理解を深めてもらうことも大事。上富小の活動として、農業体験が多いイメージがある。三芳小に移ったとしても、上富の農業をやっている方々に協力を依頼し、上富小学校で現段階でやっている活動を残していくことが、地域の方々にも理解してもらう一つの手法であるという意見が出た。最後に、スクールバスの利用という点で話し合った。一つの案として、コミュニティバスのようなものを設けるという案が出た。現状、三芳町の中を、例えば北永井1区から3区を移動するようなバスが整備されていない。もし、スクールバスのようなものを設置した場合、子どもの登校する時間と下校する時間以外は、そのスクールバスが空く時間になる。その時間は地域の方々、高齢者の方々の足になるような利用の仕方も、バスの使い方として有りなのではないかという意見が出た。</p>
C グループ	<p>まず全ての委員の結論として、なるべく、形を変えてでも今ある学校の場所を維持していきたい、その方法を模索していきたいというような結論。今のまま、全ての学校の建て替えもできてというような想定はしていないが、もし統廃合がされるようなことがあれば、ほぼスクールバスはマ</p>

	<p>ストになるのではないかという話が出てきた。ただ、今の人口減によって学校がそもそも維持できなくなっているという想定の中で、現時点でスクールバスの減便や廃止がニュースになっている。このような状況の中、もっと厳しくなるであろう10年後、20年後に果たして本当にスクールバスが持続可能な形で運営できるかというところを考えたとき、基本的にはスクールバスは廃止になることを想定して統廃合を考えなければいけないという話になった。その際、低学年、せめて1年生～3年生においては、なんとか近いところに学びの場がなければならないのではないか。例えば、低学年のみ分校のような形で小規模になった学校。学校校舎の建て替えが必要な場合には、非常に簡素な、例えば平屋であるとか、フルの学校で必要とされる設備が半分ぐらいしかないようなことがあっても、低学年が通える校舎。先生が足りない場合には、他の市町村のようにバスで別の学校に行ったりとか、場合によっては教室でビデオ学習だったりとか、リアルタイムで他の学校の授業を受けたりとか。工夫をすることで、せめて低学年が今と同じような場所で学べるような工夫を模索すべきという意見。万策尽きた際には、統廃合という形もあるのかもしれないが、そういったことに関するアイデアがいくつか出て、小規模校のいいところがあるので、ぜひそこに通いたいという保護者を町内から募ったり、場合によっては町外から募る。どこでもいいというわけではないが、小規模校だから希望者は受け入れるというような形で児童生徒を増やしていく施策を考えたりしてもいいのでは。今の統廃合の問題で出てきている教師の数の問題は、大規模校であっても現状変わらず必要である。現時点でおそらく足りない、今後も足りないということで、統廃合も規模も関係なく、ある程度増やしてという要望が有り続けているという意味では、おそらく小規模校の有無に関係ない話題ということであり、一旦教師の数の問題は考えなくていいという話が出た。財政面では、なるべくフル規格の学校でない形で町の方でも考えていただきたい。大事なのはやっぱり当事者である児童、保護者が、現時点で統廃合というものに対してどういうふうに思っているかということ。具体的には自分の学校がずっとあってほしいのか、何か問題があれば新しい学校に行きたいのか。そこについてアンケートあるいは調査等をして、現状を分析し、もし全ての生徒、保護者が新しい学校に行きたいということであれば統廃合という話に進むかもしれないし、どんな形でもいいから今の場所でできることがあればやりたいという話であればそれを尊重すべきではないかという話であった。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。何かご意見を聞いていただき、質問やご意見等あれば出していただきたい。いかがか。</p>
	<p>(発言者なし)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、次回に向けて、柱をもって話し合いを進めていかなければというところがあり、ご意見を頂戴したいと思う。そろそろ統廃合の方向性をきっちり出していかなければいけない時期になってきている。それぞれもちろんメリット・デメリット、課題もあると思うが、そこも踏まえ、まず第一歩として方向性、判断を出し、さらに具体的にどの学校をどうしていくかというようなことが必要かと思っている。今日、ご意見いただいた</p>

	<p>ように、施設・設備の工事に関わる費用などの部分、スクールバスの費用あるいはそのパターン等、また、各グループの意見を回って伺っていた中では、三芳町と同規模程度の町での小学校あるいは中学校の統廃合を進めていたところの様子についてもう少し聞いてというようなご意見も聞こえてきた。その辺も事務局の方で資料を出していただければ。基本的には、町の方から昨年度出された適正配置・適正規模の方針というところも踏まえなければならない。その上で、本審議会で方向性を決めていくことが次回になるかと思っている。ご意見いかがか。</p>
委員	<p>資料としていただきたいのが、仮に統廃合されるという前提のもとで、通学距離が変わる場合、最大どれくらい変わり、適正配置のおおむね3キロから外れるお子さんがどれくらいいるか。現状ベースで構わないので。</p>
会長	<p>事務局にお願いする。また会議録もメールで送付させていただく。この場ですぐに次回の課題がまとまらないところもあると思うので、議事録を読み返していただきながら、それぞれ事務局の方に、もし次回の審議会での意見、内容についてご意見があれば教えていただきたい。</p>
委員	<p>個人的な意見になるが、統廃合を実際する場合、意識しておかなければいけないと思うのが、学校を廃止した地区というのは、新しい世代、若い世代の方が入ることは基本的にはない、というような想定を町としては持っておかなくてはいけないと思っている。自然に若い世代が入ってくるといふ想定はちょっと考えづらい。実家がある方が住むことがあったとしても、仮に上富という話があった場合には、おそらくその産業として三富を発展させていこうという町の思いと、後継者問題等を考えたときに、場合によっては離農等に繋がりがかねない。これは竹間沢とか、どこの学校もそう。統廃合した結果、極端に離れてしまう場合、その周辺に若い世代の流入はおそらくない。これを踏まえて、覚悟を持って進まなければいけないと思っている。</p>
	<p>4 諸連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回の審議会日程を【12月19日（火）17時30分～】とすることについて確認。場所は追ってお知らせすることとした。 </p>
	<p>5 閉会</p>